

西南学院大学博物館開館 20 周年記念シンポジウム

日本のキリスト教美術

プログラム

第1部

基調講演

宮下 規久朗 (神戸大学大学院人文学研究科教授)

「日本のキリスト教美術の概要と問題
—16 世紀から近代まで—」

1963 年名古屋市生まれ。東京大学文学部美術史学科卒業、同大学院修了。1995 年より神戸大学文学部助教授、2013 年より現職。『カラヴァッジョー聖性とヴィジョン』（名古屋大学出版会）でサントリー学芸賞など受賞。他の著書に、『聖母の美術全史』（ちくま新書）、『バロック美術』（中公新書）など多数。最新刊は、『戦争の美術史』（岩波新書）。



第2部

宮川 由衣 (西南学院大学博物館 学芸員・助教)
「長崎から辿る祈りとかたちーキリシタンの聖像から石河光哉まで」

橋村 直樹 (岡山県立美術館 学芸課長)
「造形に立ち現れる宗教性の再検討ー近代岡山の画家と山下りんの造形的位相」

河本 真夕 (北海道立近代美術館 学芸員)
「北海道美術におけるキリスト教の文化的影響ー林竹治郎を起点として」

全体討論・質疑応答 司会 松原 知生 (西南学院大学国際文化学部教授・当館館長)

2026

土

11.7. sat

13:00▶17:15

参加無料

西南コミュニティセンター
1 階ホール

申込 QR コード



定員：180 名
要事前申込

主催 西南学院大学博物館

お問い合わせ 西南学院大学博物館事務室
〒814-8511 福岡市早良区西新 3-13-1
TEL 092-823-4785 FAX 092-823-4786

地下鉄

福岡市地下鉄空港線西新駅下車、
3 番出口から徒歩約 5 分

バス

西鉄バス西新駅下車、徒歩約 5 分

※駐車場はございません。車でお越しの際は、
周辺の有料駐車場をご利用ください。



西南学院大学

山下りん《至聖生神女の福音（受胎告知）》部分 制作年不詳 / 一関ハリストス正教会

林竹治郎《朝の祈り》部分 1906 年 / 北海道立近代美術館